

第10回上下水道事業審議会 議事概要

1 日時及び場所

平成30年7月31日(火) 午前10:00～11:10
知立市中央公民館 2階 中会議室

2 出席者及び欠席者

- (1) 出席者(9名)
- (2) 欠席者(1名)
- (3) 事務局(10名)

3 議題及び内容

- 1 あいさつ
- 2 議題
 - (1) 【水道事業】知立市新水道ビジョンについて
- 3 その他

4 議事概要

議題

- (1) 【水道事業】知立市新水道ビジョンについて
説明後、質疑応答

5 主な意見、質疑応答

議題

- (1) 【水道事業】知立市新水道ビジョンについて

【委員】

17ページや、30ページで、10m³となっていて、3が大きいので、小さくした方がよい。

62ページの地方公営企業法の説明で、「経済性を発揮(公共性)するとともに公共の福祉を増進(経済性)するため・・・」とあるが、(公共性)と(経済性)を入れ替えた方が分かりやすい。

【事務局】

修正を検討する。

【委員】

58ページの外部委託の説明で、「公共施設等の設計、建設、維持管理及び運営に、民間の資金とノウハウを活用し・・・」とあるが、資金も企業に頼る、という意味に思えるが、どうか。

【事務局】

知立市がどんな委託の形を取るかは、これから検討していくが、最初から最後まで民間に考えてもらう等、外部委託には様々な形があるということをご理解いただきたい。

【委員】

最初から最後まで民間に考えてもらうというと丸投げのような形かと思うが、民間に丸投げすると様々な問題があると新聞で読んだが、その辺りはどう考えているか。

【事務局】

水道事業に関して、民間に丸投げ例は、日本ではあまり無い。新聞には海外の例が載っていたが、知立市では、民間に全て移そうとは考えておらず、あくまでも事業主体は知立市である。

【委員】

58ページの外部委託の説明は、「設計、建設、維持管理及び運営」となっているが、中身としては、検針業務等、小規模の委託なので、それについての説明の方が分かりやすい。

【事務局】

そのあたりの表現方法については、検討して修正していく。

【委員】

「強靱」に関することで、50ページに災害時の施策でBCP等とあるが、課内で研修や訓練等行っているのか。

【事務局】

知立市で行なっている総合防災訓練では、水道は上水道班としての役割を担っていく。具体的には、給水車の出動、消火栓からの給水訓練や、ポリタンク・給水袋で水を配る等の活動をする。また、具体的施策としては50ページの⑦番に記載があるが、知立市BCP業務継続計画を策定しており、災害時における職員の行動について、水道業者も含め、明確に定めている。

【委員】

応急給水拠点が増えたとのことだが、もっと増やしてもいいのでは。

【事務局】

ご意見はその通りだが、知立市だけではなく、広域での対応を考えている。近隣市や県外の相互防災協定市等に応援を求める。

【委員】

知立浄水場は10年後に廃止することは前回決まったが、災害給水拠点として、残しておくのか、それとも完全に無くしてしまうのか。

【事務局】

まだ最終決定はしていないが、建物が老朽化しているため、建物を全部取り払うことは考えている。

【委員】

3ページ、5ページ等、挿絵や写真が入っているが、水道に関係ないもののため、削除してもいいのではないか。

【事務局】

前回の水道ビジョンを踏襲したが、削除の方がいいという意見が多ければ削除する。

【委員】

「安全・強靱・持続」がコンセプトになると思うが、何がやりたいかというのが最初にあると、市民が見たときにストーリーが通じやすい。また前回の水道ビジョンに対してどこが変わったのかということを入れると、理解しやすい。

【事務局】

過去から検証し、課題があつて、それをどう展開してきたかという流れで作ってきたという経緯があるが、一度検討する。

【委員】

水道ビジョンで興味が行くのは、やはり災害時の「強靱」だが、水道事業としては真逆かもしれないが、井戸が西日本の豪雨で役立ったと聞いた。水の供給という観点からすると、井戸の活用も考えた方がいいのではないか。

【事務局】

安心安全課で、災害時に井戸水を提供する方と100件ほど約束をしている。

【委員】

今日出た意見による修正は、パブリックコメントで出た意見と合わせて修正するのか。

【事務局】

今日出た意見で、直すところは直し、パブリックコメントをかける。